

# Red Hat Enterprise Linux (RHEL) の経済効果

## RHELの真価



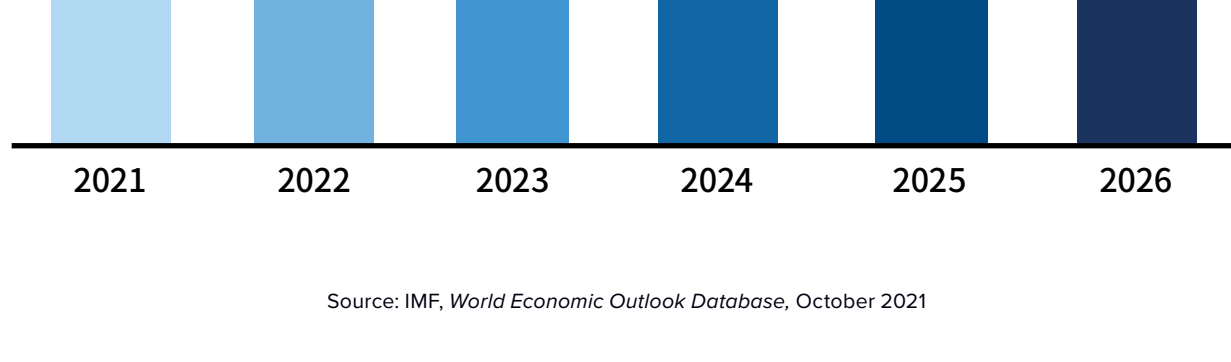
RHELはあらゆる事業部門に、そして何よりもIT部門に影響を与える。



今年のグローバル経済では、**10ドル当たり1ドル以上が**、RHELワークロードによって「タッチ（組織との相互的な関わり合い）」され、**総生産額は13兆ドル**を上回ると予測される。

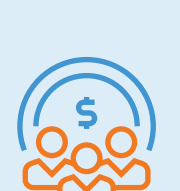
Source: Red Hat Enterprise Linux: \$1.7 Trillion a Year Boost for Customers, IDC, March 2022

## RHEL経済フットプリント (兆ドル)

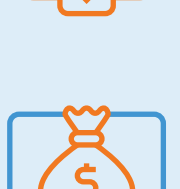


Source: IMF, World Economic Outlook Database, October 2021

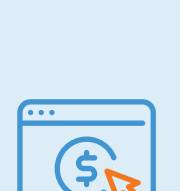
## 顧客の収益を増加させ、コストを削減するRHEL



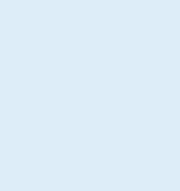
経済に大きなフットプリントを残すこと、そのフットプリントで影響を与えることは別物である。



RHELを選択することで、企業は顧客の獲得と維持、従業員の生産性の最大化、ITコストの削減に必要なアプリケーションを導入できる。

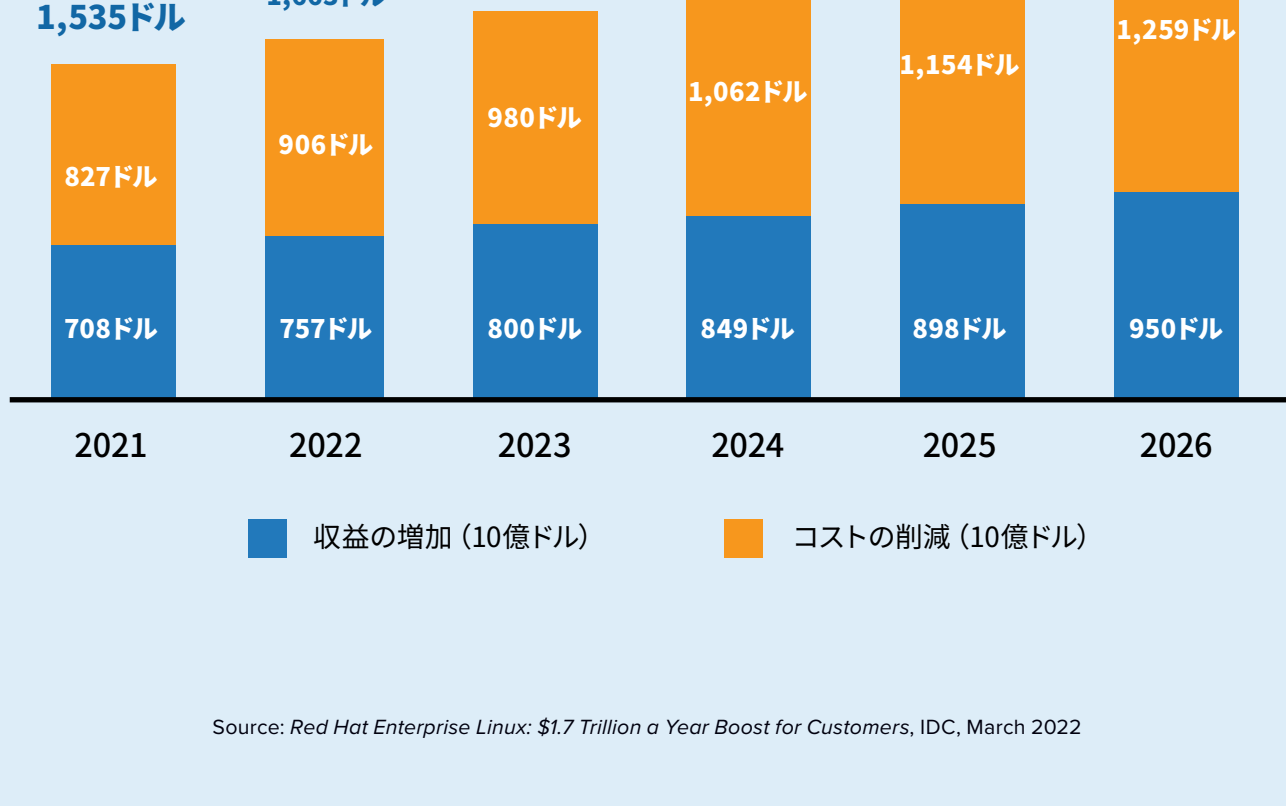


RHELを活用している顧客は、ITコスト9,000億ドルに対し、**今年は約1兆7,000億ドル**の直接的な効果を期待できる。これはかけた投資のほぼ倍の効果と言える。



2026年までに、この効果は**2兆2,000億ドル**を上回るか、現在よりも**33%も増加**すると予測されている。

## RHELの投資効果



Source: Red Hat Enterprise Linux: \$1.7 Trillion a Year Boost for Customers, IDC, March 2022

## RHELで成功を収めるパートナー



RHELは、パートナーエコシステムを介して提供されるアドオン製品やサービスをサポートするよう設計されたプラットフォームである。



IDC調査の回答者は、ITプロジェクトを成功させるために、ハードウェア、ソフトウェア、サービスプロバイダーなど、平均7社のベンダーが必要であったと回答している。



Red Hatのエコシステムにおいて、パートナーはオペレーティングシステムであるRHELに**1ドル**費やすごとに**今年22.60ドル**獲得するとIDCは予測している。

## Red Hatのエコシステムが

**2022年に1,000億ドル**

を超える収益を上げるとIDCは予測しており、その内訳を以下に記す。

40%

追加のソフトウェア

30%

サービス

15%

ハードウェア

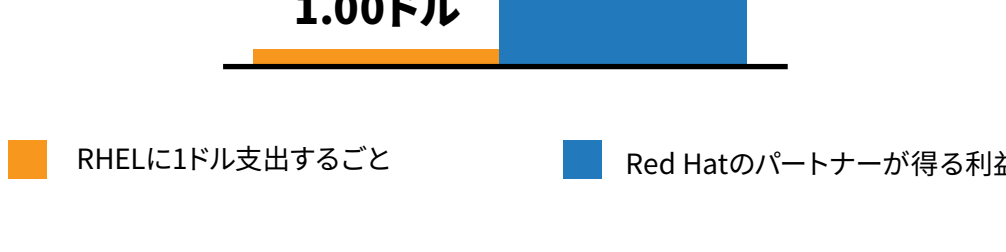
15%

利益

n = 612

Source: IDC's RHEL Economic Impact Survey: Line of Business Execs and IT Professionals, September 2021

## RHELの驚くべき力



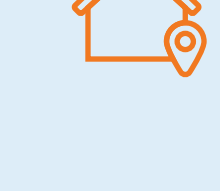
Source: Red Hat Enterprise Linux: \$1.7 Trillion a Year Boost for Customers, IDC, March 2022

## ITを支え、発展させるRHEL

IDC調査の回答者によると、**過去2年間で新規ワークロードの半分以上がRHEL上で展開されている。**

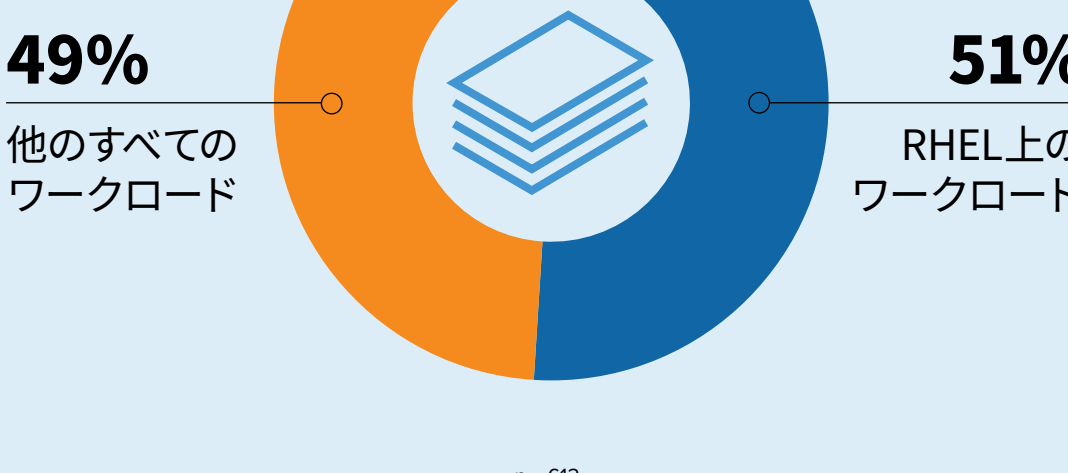


これらのワークロードの多くは、企業が新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に適応し、乗り切るために役立った。感染拡大のために中断したプロジェクトのうち、**RHEL上で展開されたものの平均87%は**、近いうちに完了する予定である。



RHELは、企業のハイブリッドクラウドやマルチクラウドジャーニーの最前線にある。RHELはどこにでも導入可能であり、調査参加企業は、オンプレミスとクラウドの導入が同程度好まれていると回答している。

## RHELが組織に普及する仕組み



n = 612

Source: IDC's RHEL Economic Impact Survey: Line of Business Execs and IT Professionals, September 2021

## あらゆる場所の従業員に広がるRHELのエコシステム

今年、Red Hatとパートナーエコシステムでは



**99万人以上の従業員を**雇用し、RHELを日常的に使用する**190万人のIT専門家が生計を立てることができる。**

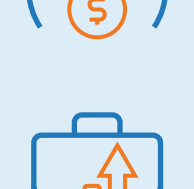
2026年までに、

Red Hat-RHELの傘下にあるこの分野で、

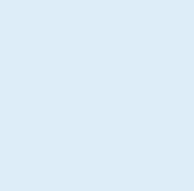
**合計340万人の従業員**を擁する可能性がある。

Source: Red Hat Enterprise Linux: \$1.7 Trillion a Year Boost for Customers, IDC, March 2022

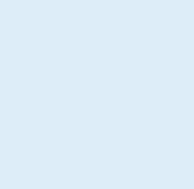
## 結論



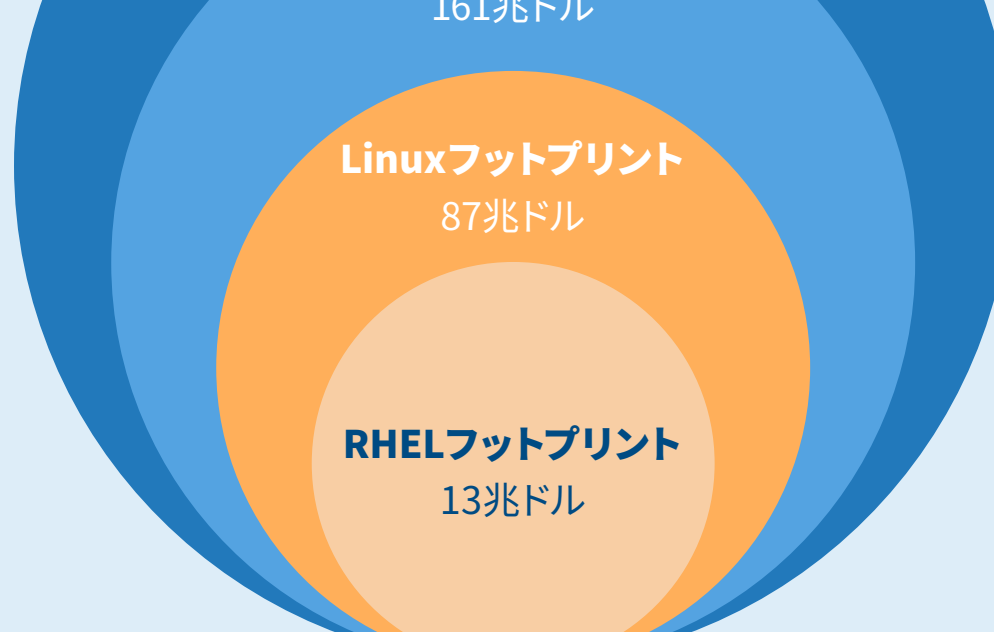
オペレーティングシステムは、ハイブリッドやマルチクラウドでシームレスに機能しなければならぬ。RHELはどこにでも導入でき、企業のITジャーニーを強化できる。



今年のRHELの事業収益は、**206兆ドル**を超え、そのうちの**161兆ドル**はITに関連するものと推定される。



**2022年には13兆ドル**となり、RHELのエコシステムの好機は非常に大きく、今後も拡大し続けるとみられている。



Source: Red Hat Enterprise Linux: \$1.7 Trillion a Year Boost for Customers, IDC, March 2022

## スポンサーからのメッセージ

詳細については、IDC White Paper, *Red Hat Enterprise Linux: \$1.7 Trillion a Year Boost for Customers*, sponsored by Red Hatをご覧ください。

[レポート全文のダウンロードはこちら](#)